



京都府 おぶぶ茶苑(同) 『日本茶を世界へ』

【主な品目】

茶

【主な輸出先国・地域】

米国、EU、アジア、オーストラリア

【輸出取組の概要】

- ◆ 日本茶(和束茶、和束産宇治茶)の生産から海外への販売まで自社で実施。
- ◆ 海外の日本茶好きの方に向けた茶畠ツアーなどで日本茶の魅力を伝える。
- ◆ 2020年より無農薬無施肥の茶畠を管理、EUを中心に自然栽培のお茶の魅力をPR。

【輸出実績】(平成20年度より輸出開始)

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
令和2年度	3,000	3	通年
令和元年度	2,800	2.5	
平成30年度	2,500	2	

【取り組む際に生じた課題】

- 書類作成等の輸出手続きや残留農薬基準等の現地輸入規制への対応。
- コロナ禍でのツーリスト激減、海外からの入国が停止し、活動の大きな支えとなるインターン生も受け入れ出来ず。
- 新しい茶畠の管理に十分な時間と人員を配置できない。

【効果があった取組】

日本茶の輸出と連携してオンライン茶畠ツアーを実施したことが良かった。オンラインでも日本茶の魅力が十分伝わり、入国制限解除後は和束に行きたいと思ってもらえた。

【生じた課題への対応】

- 輸出手手続きに関連する最新の情報を収集し、地道に書類を作成。
- オンラインにて、試飲から茶畠や工場の見学など、お茶のすべてがわかるツアーの実施。
- 季節労働者やボランティア、リモートワーカーの募集で人員確保。



オンラインティーツアーの様子

【対応の結果】

- 必要書類の有無、残留農薬基準に関する課題も軽減。結果、輸出可能な国が増え販路拡大に繋がってきている。
- オンラインツアーに必要なお茶や茶器の販売が増え、リピーターにも繋がった。
- ボランティアが多く集まり、今季の収穫や製造がスムーズに行なえた。長期的なサポートも確保できた。



海外市場に向けた無農薬無施肥の茶畠管理

【今後の課題・展望】

- 世界の基準に合わせた安心、安全なお茶作り。
- インバウンドの回復を見越して、ツアー環境の整備、オンラインツアーとの併用にて日本茶の魅力をPR、さらなる販路拡大。
- さらに人流を増やして、農業の魅力を国内外に広く伝える。

【ウェブサイト】 <http://www.obubu.com/>

【連絡先】 担当者名:シモナ鈴木、TEL:0774-78-2911